

2019年 5月 11日

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 宮本 弘 様  
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会
団体所在地	〒983-0039 仙台市宮城野区新田東 3 - 8 - 1-303 (団体電話) ※できません (団体 FAX) 022-774-1846 (団体 e-mail) (団体ホームページ) <a href="http://www.normanet.ne.jp/~miyanan/">http://www.normanet.ne.jp/~miyanan/</a>
代表者名	武田 浩一 (役職) 理事長
連絡担当者名	
連絡担当者 住所・連絡先	

1. 助成事業報告

事業名	平成30年度全難聴・全要研東北ブロック大会
目的	東北各県の難聴者・中途失聴者と要約筆記者が年に1回一堂に会し、難聴者・中途失聴者の福祉の向上と社会参加を促進するために、様々な問題について討論し、研修を深める。
実施内容	平成30年度は宮城県が主管となり、上記目的を達成する為、講演およびワークショップを行った。また、事業開始まで事業内容の検討・進捗状況の確認を行う実行委員会を計14回実施した。
開始から終了までの流れ	平成30年9月23日(日) 10:00 東北ブロック大会実行委員 集合 12:30～ 全難聴東北ブロック役員会/全要研東北ブロック研修会 受付開始 13:00～14:30 全難聴東北ブロック役員会 要約筆記付き 全要研東北ブロック研修会 要約筆記付き 14:30～ 一般参加者 受付開始 15:00～17:00 開会式 手話通訳&要約筆記付き

	<p>全体会(講演) 手話通訳&amp;要約筆記付き  17:45 懇親会受付開始  18:00～20:00 懇親会 要約筆記付き</p> <p>平成 30 年 9 月 24 日(月)  9:00 受付  9:30～11:30 全体会(ワークショップ) 手話通訳&amp;要約筆記付き  11:30～12:00 閉会式、引き継ぎ式 手話通訳&amp;要約筆記付き</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>本大会には、東北各地はもとより全国から 94 名の参加者が集まり、盛況のうちに終了することができた。</p> <p>全体会の講師として、神戸市難聴者協会会長の片岡知子氏をお招きした。1 日目のテーマは、「いまだから話せるあの日、そしてこれから」で、阪神淡路大震災の被災体験談や防災・減災への心得等を伺った。2 日目はワークショップ「地域団体としての備えと対応はできていますか」を行った。グループに分かれ、震災の体験談や情報交換、対応方法や知恵の収集等の話し合いが活発に行われた。</p> <p>懇親会にも多くの方にご参加いただき、楽しく・おいしく・和やかな時間を提供することができた。</p> <p>本大会開催時、東日本大震災より 7 年 8 か月目。さらなる復興に向けて歩を進めながら、聴覚障害者が安心して暮らすことができる社会となるよう、皆で手を携えて取り組みを進めていくことが大切であると確認することができた。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>本大会で防災・減災についての知識や防災意識を高められた参加者には、障害がある人もない人も地域で安心して暮らすことができる社会となるよう、地元の活動団体、もしくは地域社会の中でより一層ご活躍いただくことを期待する。</p> <p>そして本大会は、コミュニケーション不全により社会で生きづらさを感じている難聴者・中途失聴者と要約筆記者、関係者が一堂に会する事により、つながりが創出できる機会となっている。障害当事者にとっては、聞こえにくさを抱えている仲間の存在を確認でき、その場で適切な支援を受けたり、筆談・手話などを使って交流することにより、自己肯定感も高められる。要約筆記者等にとっても、多様な聞こえの状況やそれぞれのニーズを知ること・体感することにより、福祉サービスの一つである要約筆記の現場等での対応に活かしていただけているものと考えます。</p> <p>東北 6 県で持ち回り開催している本大会に、引き続き、より多くの方々に参加していただけることを望む。2019 年は福島県で開催される。</p>

## 2. 助成金使途報告書

### ■ 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
仙障協助成金	40,000	
大会参加費	193,000	参加者 94 名
宿泊/懇親会費	1,229,000	宿泊者 84 名
一日目の昼食代	40,000	40 名注文
全要研宮城県支部補助金	15,009	全要研と共催による出資
赤い羽根共同募金	135,000	全要研申請による助成金
合計	1,952,009	

全要研：全国要約筆記問題研究会宮城県支部

### 支出の部（助成の対象となった事業の分のみ）

費目	内容	予算額(円)	実支出額 (円)	助成金からの 支出額(円)
旅費交通費	宿泊費	1,257,000	1,108,038	
	全難聴講師宿泊費	25,000	12,570	
	講師交通費	77,000	45,500	
	実行委員交通費	0	93,882	
会場費	会議室（ロイヤルホール, 鳴瀬)利用料 2 日分	216,000	221,400	178,200
賃借料	会場スクリーン	16,000	0	
	会場プロジェクター	16,000	0	
食糧費	懇親会飲み物代	0	101,000	
	一日目の昼食代	0	40,000	
	実行委員会茶菓子	0	15,587	
通信運搬費	機材運搬費	12,000	30,310	
	通信費(郵送代等)	0	20,860	
消耗品費	大会事務用品代	20,500	57,847	
印刷製本費	印刷費	30,000	39,195	
諸謝金	全難聴講師謝礼	16,000	32,000	32,000
	全要研講師謝礼	16,000	20,000	
通訳料	PC 要約筆記	32,000	24,000	15,000
	手書き要約筆記	18,000	36,000	36,000
	手話通訳	40,500	18,000	18,000
	手話通訳待機料	0	4,000	
	通訳者交通費	0	30,416	20,800
支払手数料	銀行振込手数料	0	1,080	
	両替手数料	0	324	
合計		1,792,000	1,952,009	300,000

\*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

### 3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー（助成金から支出した分のみ）
- (3) 成果物（活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など）





むすび丸

# 笑顔咲くたび 伊達な旅

## 仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom

平成30年度 全難聴・全要研東北ブロック大会 実行委員会

本大会誌は赤い羽根共同募金の助成を受けて作成致しました。

# 平成30年度 全難聴・全要研東北ブロック大会



～伊達の地に集い、難聴者と要約筆記者の絆を深めよう～









- |     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 平成30年9月23日(日)～24日(月・祝)                                       |
| 会 場 | アクティブリゾート宮城蔵王(旧 宮城蔵王ロイヤルホテル)                                 |
| 主 催 | 一般社団法人 全日本難聴者中途失聴者団体連合会東北ブロック<br>特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会東北ブロック |
| 主 管 | 特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会<br>特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会 宮城県支部   |

# 平成30年度全難聴・全要研東北ブロック大会 in 宮城

～ 伊達の地に集い、難聴者と要約筆記者の絆を深めよう ～

## 開催要項

1. 名称 平成30年度全難聴・全要研東北ブロック大会 in 宮城
2. 目的 東北各県の難聴者と要約筆記者が会し、中途失聴者・難聴者の福祉向上と社会参加を促進するために、様々な問題について討論し、研修を深めることを目的とする。
3. 日時 9月23日(日)～24日(月・祝)
4. 会場 アクティブリゾート宮城蔵王(旧 宮城蔵王ロイヤルホテル)
5. 主催 一般社団法人 全日本難聴者中途失聴者団体連合会東北ブロック  
特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会東北ブロック
7. 主管 特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会  
特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会 宮城県支部
8. 協力 要約筆記通訳おおさき、要約筆記通訳しおがま、要約筆記通訳「せんだい」  
要約筆記通訳せんなん、特定非営利活動法人パソコン要約筆記 文字の都仙台
9. 後援 宮城県、蔵王町、社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会、一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会、宮城県立聴覚支援学校 PTA、みやぎのろう教育を考える会、宮城県耳鼻咽喉科医会、宮城県言語聴覚士会、一般社団法人日本補聴器販売店協会 東北支部 宮城県部会、 河北新報社、朝日新聞仙台総局、産経新聞社東北総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、 仙台放送局、 仙台放送、 TBC東北放送、 KHB東日本放送、  

10. 参加者 東北各県の中途失聴者・難聴者および要約筆記者、その関係者

# 大会プログラム

# 開会式 次第

1日目 (9月23日 日曜日)			
	<全難聴>	<全要研>	会場
12:00~	東北ブロック役員会受付	東北ブロック研修会受付	ロイヤル ホール
13:00~14:30	東北ブロック役員会	講演：情報はシャワーのように！ ～私たちが必要な理由と権利擁護～ 講師：社会福祉士 内田幸雄氏	
14:30~	一般参加者受付		
15:00~17:00	開会式		
	全体会 講演：「今だから話せるあの日、そしてこれから」 講師：神戸市難聴者協会 会長 片岡知子 氏		
17:45	懇親会受付		蔵王
18:00~20:00	懇親会		

2日目 (9月24日 月曜日・祝日)			
9:00	受付		ロイヤル ホール
9:30~11:30	全体会 ワークショップ： 「地域団体としての備えと対応はできていますか」 講師：神戸市難聴者協会 会長 片岡知子 氏		
	閉会式・引き継ぎ式		

平成30年9月23日(日) 15:00~  
アクティブリゾート宮城蔵王 ロイヤルホール

1. 開会のことば
2. 実行委員長あいさつ
3. 全難聴東北ブロック長あいさつ
4. 全要研東北ブロック長あいさつ
5. 来賓紹介
  - ・蔵王町長
  - ・宮城県聴覚障害者福祉会 理事長
7. 来賓退席
8. 閉式





## ご挨拶

平成 30 年度全難聴・全要研東北ブロック大会  
実行委員長 武田 浩一

本日、「平成 30 年度全難聴・全要研東北ブロック大会」を開催するにあたり、ご来賓の皆様をはじめ、東北各地および全国各地からお集まりの皆様、関係者の皆様をお迎えして、ここ宮城県蔵王町にて開催されることを心より御礼を申し上げます。また、協力団体および後援団体の皆様にも厚く御礼申し上げます。

平成 23 年 3 月に発生しました東日本大震災から 7 年が経過しておりますが、まだまだ復興の途中であります。将来、南海トラフ地震が想定されており、同様に甚大な被害が想定されております。今年 7 月には集中豪雨による災害が西日本の広い範囲で発生し、東北でも 8 月初めに記録的短期時間大雨情報により川が氾濫し家宅が浸水したりするなど、地震による災害だけではなく、近年は豪雨による災害が増えています。災害はいつでもどこでも発生する可能性があり、自らの命や財産を守るため、日ごろからの備えが大切です。

今回の東北ブロック大会のテーマは「伊達の地に集い、難聴者と要約筆記者の絆を深めよう」とし、神戸市難聴者協会会長の片岡知子氏を招き、1 日目は阪神淡路大震災の被災体験と防災・減災への心得について等の講演をしていただき、2 日目には「地域団体としての備えと対応はできていますか」をテーマにワークショップを行い、ご参加の皆様と討論・研修を行います。

本大会の講演およびワークショップを通して、防災・減災への意識向上や対応方法を深めていただく共に、災害発生時には情報不足に陥りがちな中途失聴者、難聴者に対し、どのような対応ができるか関係者の皆様、関係団体と共に取り組みを進めていただけることを願っております。

最後になりましたが、本大会開催に当たりご協力いただきました要約筆記、手話通訳、関係団体の皆様に感謝申し上げますとともに、ご参加の皆様のご健勝を祈念して、歓迎の挨拶と致します。



## ご挨拶

(一社) 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会東北ブロック  
会長 工藤 文紀

東北各地及び全国からお集りの皆様、ご来賓の皆様、関係者の皆様、ようこそ、『平成 30 年度全難聴・全要研東北ブロック大会 in 宮城』にお出でくださいました。心から歓迎し、御礼を申し上げます。

平成 23 年 3 月 11 日（金）14 時 46 分、東日本大震災が東北地方の太平洋側を襲い、開催地であるここ宮城県にも甚大な被害を与えました。それから、7 年半が過ぎようとしていますが、いまだにその傷跡は深く、復興できずにいるところが多いと伺っております。今大会は、『伊達の地に集い、難聴者と要約筆記者の絆を深めよう！』をメインテーマに、災害時における難聴者と要約筆記者がめざす真の共生社会への道しるべを探り合っていこうと、遠刈田温泉「アクティブリゾーツ宮城蔵王」にて開催するはこびとなりました。

『全難聴・全要研東北ブロック大会』は、東北各県の難聴者・中途失聴者と要約筆記者が、年 1 回一堂に会し、難聴者・中途失聴者の福祉の向上と社会参加を促進するために、様々な問題について討論し、研修を深めることを目的とし、毎年行われています。

『東北ブロック大会』の前身は、28 年前、平成 2 年に福島県「押立温泉」で行われた『第 1 回東北 3 県交流会』だったそうです。仙台市ではその翌年の平成 3 年に『第 2 回東北 3 県交流会』を「禎祥苑」にて開催し、さらに平成 6 年の『第 5 回東北 4 県交流会』、平成 10 年の『東北地区難聴者・中途失聴者の集い』、平成 15 年と 24 年の『全難聴・全要研東北ブロック大会』を「茂庭荘」にて開催しています。

今回は、阪神・淡路大震災を体験された難聴者として神戸市難聴者協会の片岡知子会長様をお招きして、講演とワークショップを行います。災害時における難聴者の問題や今後の課題について、たくさんのヒントとなる情報や示唆をいただけることと存じます。どうぞ皆さん、本大会で得た情報をもとに各地に戻られましたら積極的に活動をしてください。

最後になりましたが、本大会開催のために、日夜こころを砕いてご準備くださいましたみやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会の皆様、要約筆記通訳おおさき、しおがま、せんだい、せんなん、NPO 法人パソコン要約筆記文字の都仙台の皆様、そして本大会関係機関、関係団体の皆様に、心から厚く御礼を申し上げるとともに、ご参加の皆様にとってこの 2 日間の大会が実り多いものとなり、出合いの輪と心の輪が益々ひろがっていくことを祈念いたしまして挨拶といたします。





## 歓迎のご挨拶

蔵王町長 村上 英人

平成30年度一般社団法人全日本難聴者中途失聴者団体連合会・特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会 東北ブロック大会が、『名峰蔵王の麓・遠刈田温泉』で開催されますことを心からお喜び申し上げますとともに、各地からご参集くださいました皆様、ご来賓の皆様を心から歓迎いたします。

ここ蔵王町は、農業と観光の町です。今の時期は、梨や里芋、七日原の高原大根などおいしい食べ物を多く生産しています。また、観光としては、蔵王山のお釜が大変美しいと有名です。是非、蔵王の自然を十分堪能していただきたいと思います。

全日本難聴者・中途失聴者団体連合会は、聴覚に障がいのある方々の社会的地位の向上と福祉の増進及び社会参加の促進のため、また、全国要約筆記問題研究会は、音声情報バリアフリー社会の実現に向けて取り組んでおられると聞き及んでおります。本大会は、諸問題の討議と情報交換の場を持ち、難聴者と要約筆記者の絆を深めることを目的として取り組まれるものであり、長年にわたり開催されていることは、関係者の皆様の努力の賜物であると、心から敬意を表する次第であります。

ここ蔵王町におきましても、障がいのある人を地域で包み込み、自分らしく生きることを支援する社会づくりをめざして、「障がいのある人が自分らしく生活できる蔵王町」の実現を目指し、障がい者福祉施策を総合的に推進しております。中でも、聴覚に障がいのある方への支援として、通訳者等の派遣や手話奉仕員養成事業、日常生活用具給付事業の充実、ヘルプカードの配布等に取り組んでいるところです。

本大会の『防災と減災の心得』というテーマは、地震や水害等の被害が甚大である昨今において、大変興味深いところでもあります。本町においても、支援体制の整備、充実を進めていかなければならないと考えております。

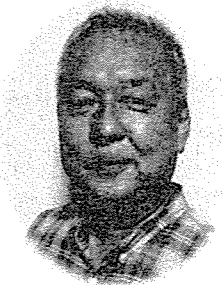
終わりに、本大会の開催にご尽力されました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、本大会のご盛会と今後のご活躍を心からご祈念し、歓迎のことばといたします。

## 1日目 全要研東北ブロック研修会

講演：情報はシャワーのように！

～私たちが必要な理由と権利擁護～

### 内田幸雄（うちだゆきお）氏 プロフィール



1963年(昭和38年)1月、東京生まれ。  
現ルーテル学院大学文学部社会福祉学科を卒業。  
東京神学大学へ学士編入し同大学院修士課程で学ぶ。

2015年3月4日、株式会社オフィス・ウチダ/せんだい内田社会福祉士事務所設立。成年後見人や未成年後見人の受任、企業や施設のコンサルティングを行う。

2016年4月から、宮城県教育委員会のスクールソーシャルワーカーを委嘱され、県内4つの高校を担当している。

- ・株式会社オフィス・ウチダ せんだい内田社会福祉士事務所 代表取締役
- ・一般社団法人宮城県社会福祉士会 理事
- ・権利擁護センターぱあとなあ宮城 運営委員長
- ・仙台地方検察庁刑事政策推進室社会福祉アドバイザー
- ・NPO法人宮城福祉オンブズネット「エール」 副理事長
- ・NPO法人宮城県ケアマネジャー協会 理事
- ・宮城学院女子大学・東北文化学園大学 非常勤講師
- ・宮城県福祉サービス第三者評価推進委員会 委員
- ・宮城県教育委員会  
義務教育課・高校教育課/スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー
- ・宮城県教育委員会 高校スクールソーシャルワーカー  
(宮城水産・登米総合産業・柴田農林川崎校・岩沼特別支援学校川崎キャンパス)
- ・法務省 東北地方更生保護委員会 前委員
- (学会) 日本成年後見学会 日本経営学会 日本社会福祉学会 日本ケアマネジメント学会
- (資格) 社会福祉士 介護支援専門員 保護司
- (その他) 妻1人子供6人(22歳 20歳 19歳 16歳 10歳 6歳)の父親。

# 全体会

平成 23 年 3 月 11 日— 忘れてはならないあの日から、7 年が経過しようとしています。この機会に、神戸市難聴者協会から片岡知子会長を招き防災講演を開催します。

1 日目（9 月 23 日）は、阪神淡路大震災の被災体験と防災と減災の心得を、2 日目（9 月 24 日）は、「地域団体としての備えと対応はできていますか」をテーマにワークショップを行います。

## 片岡知子 氏プロフィール

神戸市難聴者協会 会長

1997 年 1 月 17 日 阪神淡路大震災時、神戸市灘区で被災。

1 歳 11 ヶ月の長男と 3 カ月の長女を抱え、避難所に行くも、文字情報がなく、他県にて避難生活。

ライフライン復旧後に、神戸に帰宅。自宅は全壊判定を受け、仮設住宅で 3 年間暮らす。震災後しばらくは気が張っていたので気づかなかったが、その後、PTSD と診断される。被災体験から 20 年を経て、ようやく自身の体験を話すようになる。

防災・減災・近所コミュニティの重要性に重点を見出す。

自分自身の経験から「頑張りすぎない」ことを大事にしたいと思っている。



## ワークショップ：

### 「地域団体としての備えと対応はできていますか」

- ① 1 日目の講演を聞いての感想を参加者の皆さんからいただく（指名あり）
- ② 「ワークショップ」自分たちにできる防災と減災  
自分たちでできる災害への備えとしてどんなことがあるのでしょうか？  
防災マニュアルに目を通したことはありますか？できる備えをリストアップしてみましょ  
う。所属する団体の安否確認方法はどうなっていますか？自分の住んでいる地域の避難所を  
知っていますか？  
他に気づいたこと、思いついたこと、どんどん出してみましょう。
- ③ 「ワークショップ」発見  
他のグループで話し合われたことをもとに、気づいたことを確認していきましょう。  
自分で思いつかなかったこと、そこにヒントがあると思います。）

## 懇親会にて大合唱！

会場「蔵王」18:00~20:00

作詞・作曲：新井 清

### この街で

この街で 生まれ この街で 育ち

この街で 出会いました あなたと この街で

この街で 恋し この街で 結ばれ

この街で お母さんになりました この街で

あなたの すぐそばに いつも わたし

わたしの すぐそばに いつも あなた

この街で いつか おばあちゃんに なりたい

おじいちゃんになって あなたと 歩いて ゆきたい

・手の平  
・上向き

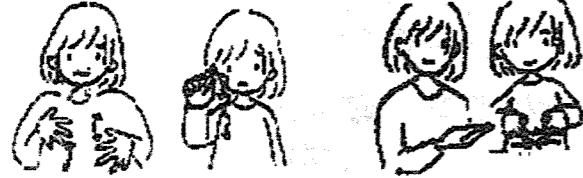
坂の上に広がる 青い空 白い雲がひとつ 浮かんでいる



あの雲を 追いかけて 夢を 追いかけて



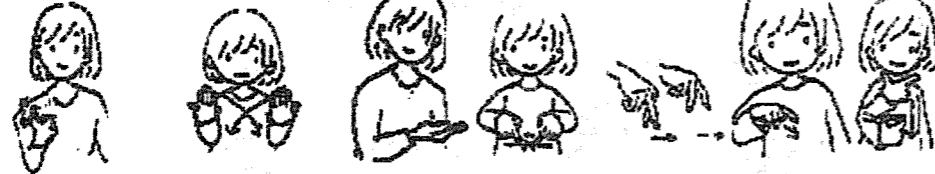
喜びも 悲しみも あなたと この 街で



この 街で いつか おばあちゃんに なりたい



おじいちゃんに なった あなたと 歩いて ゆきたい



この 街で いつか おじいちゃんに なりたい



おばあちゃんに なった あなたと 歩いて ゆきたい



いつまでも 好きな あなたと 歩いて ゆきたい

